

MicroPeckerX



カスタマイズ性に優れたCAN-FDアナライザ
CAN-FD通信モニタ・ノードシミュレーションに対応



製品特長



CAN / CAN-FD 2ch対応

最大8ch (4台接続) 同期可能、MicroPeckerとの同期も可能

シンプルな操作性

MicroPecker CAN Analyzerと同等の操作性
設定のしやすさ、設定の再現性を重視したシンプルな画面表示

SDKによる優れたカスタマイズ性

Software Development Kit (制御API群) を使って
ユーザ独自のWindowsアプリケーションを開発可能

ユーザ要望に最適化した進化する評価ツール

CAN-FDアナライザのハードウェアは共通、GUIアプリケーションで製品機能を追加
機能に合わせた製品バリエーション化を目指す。

機能拡張オプション(将来拡張)

通信セキュリティ対応機能、バスオフの評価、PORT入出力のイベントトリガー連動等
ユーザのご要求に合わせて追加オプションでソフトウェア機能拡張

評価の自動化(将来拡張)

テストシナリオによる通信評価の自動化、評価結果と評価エビデンスを自動保存

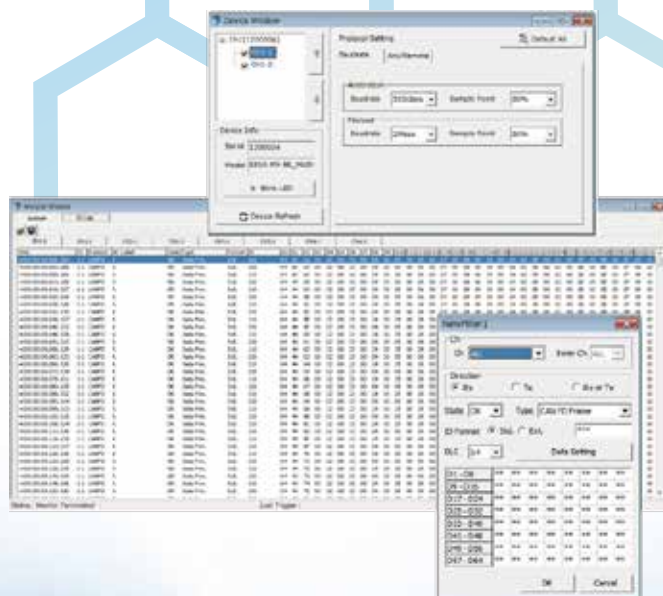


ノードシミュレーション機能

- シミュレーションフレームを24フレームまで登録可能
- 周期送信、イベント送信、イベント周期送信に対応
- 取得したログの通りにフレーム送信が可能
- マルチチャンネルの同期送信が可能
- バースト転送モードでバス負荷100%の状態を再現

ログ解析機能

- 同一IDのフレーム間隔の解析
- 物理値変換したシグナル値の解析
- バス負荷の解析
- ゲートウェイのメッセージ遅延時間計測、消失検出機能、滞留数の解析



付属SDKによる優れたカスタマイズ性

Software Development Kit(制御API群)を使ってユーザ独自のWindowsアプリケーションを簡単に開発可能

SDK活用事例



- リログソフト開発の評価用ツールとして**
ツール側からリログ通信仕様に沿ってCANメッセージを送受信し、サービスツールがなくてもリログソフト開発の機能評価が可能に
- ECU自動評価ツールとして**
評価シナリオに沿ったCANメッセージの送受信を行う評価ツールを開発
ターゲットから受信したメッセージを解析し、送信するメッセージを変更する
プログラマブルなツールで自動通信評価が可能に
- ダイアグソフト開発の評価ツールとして**
サービスツールの代替品としてSDKを活用し、ダイアグ評価ツールを開発
ツール側からダイアグ仕様に沿ってCANメッセージを送受信、機能評価が可能に

製品ラインナップ

用途に合わせて選べるケーブル2Typeをご用意

製品タイプ	TypeA -Clip 1ch Cable Set-	TypeB -CAN 2ch Cable Set-
製品名	MicroPeckerX CAN-FD Analyzer CP1パッケージ	MicroPeckerX CAN-FD Analyzer CB2パッケージ
製品型番	S810-MX-FD1-A	S810-MX-FD1-B
製品構成		
CANケーブル	CAN 1ch クリップケーブル(0.3m)	CAN 2ch Dsubケーブル(0.3m)

HAGIWARAロゴは萩原電気ホールディングス株式会社の登録商標です。また、記載された商品名および会社名等は各社の商標または登録商標です。

MPX201809KS05 2018年9月現在

Copyright(C) HAGIWARA ELECTRONICS CO., LTD. All Rights Reserved.



萩原エレクトロニクス株式会社
 応用技術本部 第一システム技術部
 〒461-0005 名古屋市中区東二丁目2番1号 高岳パークビル
<https://www.hagiwara.co.jp/>

■お問い合わせ先
 応用技術本部 第一システム技術部
 TEL:052-931-3577
https://www.hagiwara.co.jp/inquiry/tec_center/



株式会社サニー技研 名古屋事業所
 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル本館5F
 TEL:052-221-7600 E-mail:info@sunnygiken.co.jp
[URL:http://www.sunnygiken.jp/](http://www.sunnygiken.jp/)